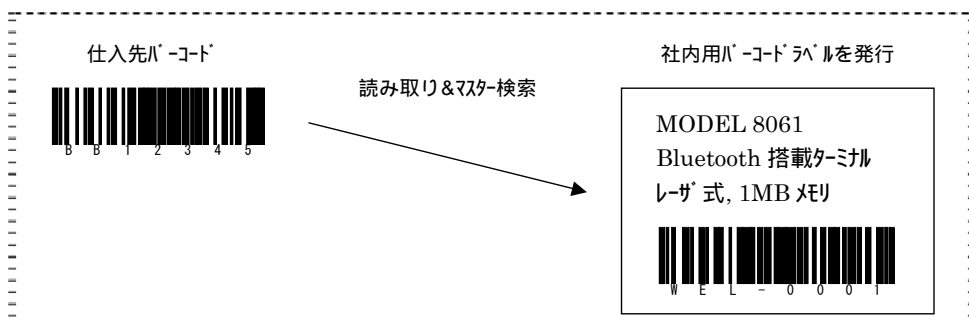


コード置換えラベル発行プログラム For MODEL 8061 Bluetooth 搭載ハンディターミナル



サポートプリンタ

サトー社

東北リコー社

ゼブラ社

東芝テック社

PT200e Bluetooth 搭載モバイルプリンタ (プチラバン)

MP2200BT Bluetooth 搭載モバイルプリンタ

QL220 Bluetooth 搭載モバイルプリンタ

B-SP2D-GH30 Bluetooth 搭載モバイルプリンタ

改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	May. 2005 （初版）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。5. 運用した結果の影響について、2.項にかかわらず責任を一切負いかねます。 |
|--|

目 次

1.	はじめに	5
2.	プログラムファイルをダウンロードする	6
3.	プリンタとペアリングする	9
4.	価格桁数を設定する	10
5.	コード置換えラベルを発行する	11
6.	バーコードチェッカ	14
7.	ラベルサンプル	15
8.	トラブルシューティング	15

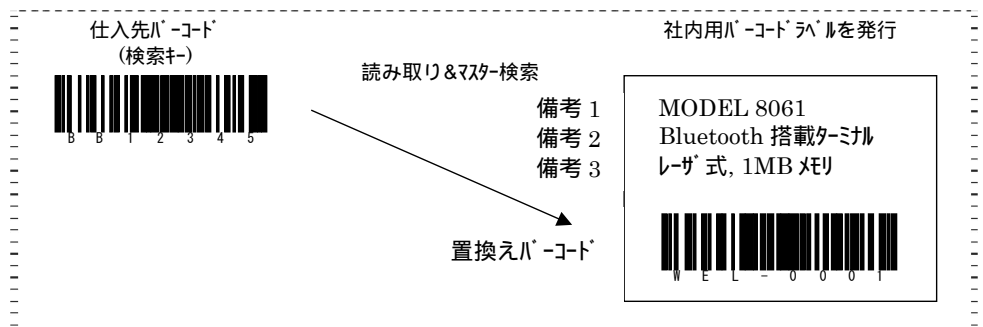
Blank page

1. はじめに

置換えラベル発行プログラムは、MODEL 8061 Bluetooth 搭載ハンディターミナル(以下、8061)で動作するソフトウェアプログラムです。各メーカーのプリンタに対応したプログラムファイルを 8061 にダウンロードして、ご使用下さい。

下記に置換えラベル発行プログラムの特徴を列挙します。

- サトー社、ゼブラ社、東北リコー社、東芝テック社の Bluetooth 搭載メーカーのプリンタに対応用途に合わせた機種選定が可能
 - 各社プリンタ用標準ラベル紙に対応
- | | |
|--------------------|---------------------|
| サトー社 PT200e | W55xH35mm サマルラベルロール |
| ゼブラ社 QL220 | W50xH30mm サマルラベルロール |
| 東北リコー社 MP2200BT | W54xH50mm サマルラベルロール |
| 東芝テック社 B-SP2D-GH30 | W52xH40mm サマルラベルロール |
- バーコード印刷は、コード 39 及びコード 128 を選択可能
 - 読み取ったバーコードをキーにマスターファイルを検索し、別のコードに置換えバーコードラベルを発行
 - マスターファイルには、置換えコードの他、備考 1~3 を記録可能
商品名や説明をラベルに印字することが可能



アプリケーション

- 仕入先コードを自社内コードへ置き換えてラベル発行
- 商品ラベル発行 (バーコードラベルの再発行)
検索キーとなるコードと置換コードを同じにすることで、バーコードの再発行が可能になります。

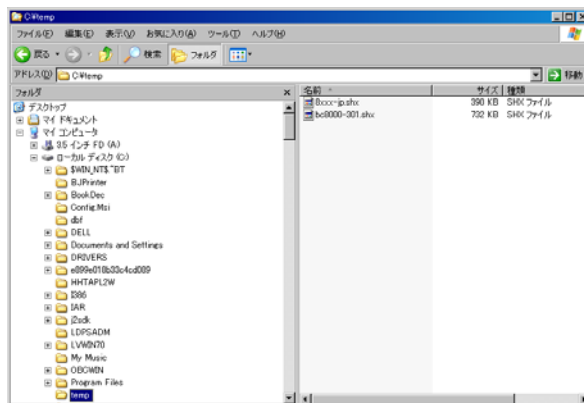
(*) ソフトのカスタマイズやカスタムラベル作成など、お気軽に弊社担当までご相談下さい。

2. プログラムファイルをダウンロードする

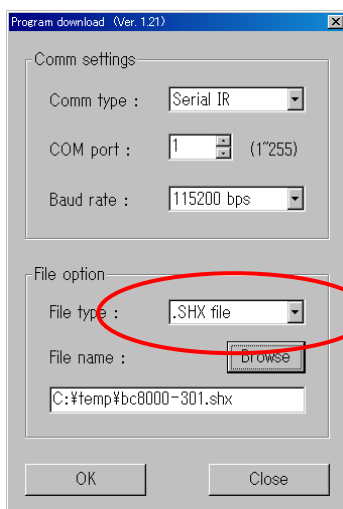
コード置換えツール発行プログラムを実行する場合、事前に BASIC ランタイムエンジンと日本語フォントファイル(16ドット)が 8061 に正しくダウンロードされている必要があります。既にダウンロードされている場合は、次へ進んでください。7 と 9 を押しながら 8061 の電源を立ち上げ、システムメニューから「1 Information」で BASIC ランタイムエンジン、及び「2.Setting」「7 Next Page」「2 Font」でフォントファイルの確認を行うことが可能です。

BASICランタイムエンジン/フォントファイルのダウンロード

1. 最新のBASICランタイムエンジンとフォントファイル¹を任意のフォルダにコピーします。この例では、C:\temp にbc8000-301.shx(V3.01 ランタイムエンジン)と 8xxx-jp.shx(フォントファイル)をコピーしています。



2. 7 と 9 を押しながら 8061 の電源を立ち上げ、システムメニューから「6 Load Program」「1 Load C Program」²「1 Cradle-IR」「1 115200」を選択し、CRDL-8001 クレードルにセットします。
3. PC側でプログラムのダウンロードツール「progload.exe」³を立ち上げ、「Com Type」、「COM Port」、「Baud rate」... の設定を正しく行い、「Browse」ボタンをクリックしてBASICランタイムファイルを選択し、最後にOKボタンをクリックして、ダウンロードを開始します。

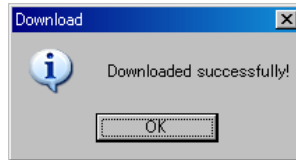


¹ 最新のランタイムエンジン及びフォントファイルは、弊社HPより入手可能です。

² BASICランタイムエンジンがダウンロードされていない場合は、表示されません。

³ プログラムダウンロードツール「progload.exe」は、弊社HPより入手可能です。

- ダウンロードが完了すれば、8061 の ENT キーを押し、「1 Cradle-IR」「1 115200」を選択し、CRDL-8001 クレードルにセットします。
- PC 側でプログラムダウンロード Utility progload.exe を立ち上げ、「Com Type」、「COM Port」、「Baud rate」... の設定を正しく行い、「Browse」ボタンをクリックしてフォントファイルを選択し、最後に OK ボタンをクリックして、ダウンロードを開始します。
- 下記のメッセージが表示されれば、ダウンロード完了です。値下げツール発行プログラムのダウンロードに進んでください。



コード置換えツール発行プログラムのダウンロード

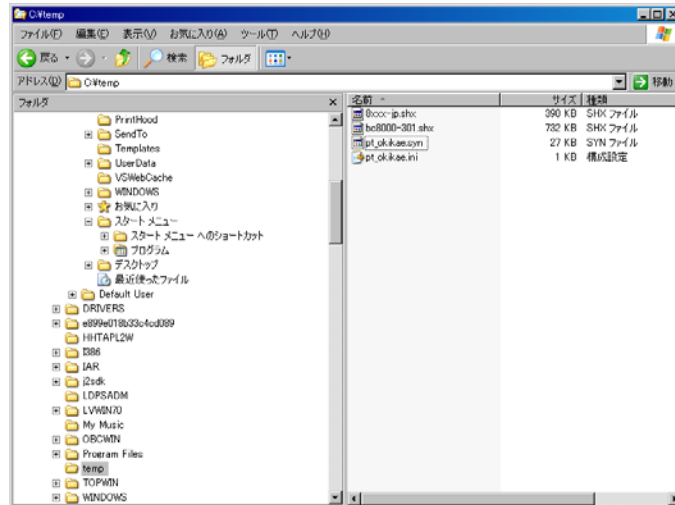
下記の手順に従って、各社 EPL 型プリンタに対応したプログラムファイルを 8061 にダウンロードします。

- ご使用になる EPL 型プリンタに対応したプログラムファイルを任意のフォルダにコピーします。

プログラム対応表

サト社 PT200e	pt_okikae.syn, pt_okikae.ini の 2 ファイル
ゼブラ社 QL220	ql_okikae.syn, ql_okikae.ini の 2 ファイル
東北リコー社 MP2200BT	mp_okikae.syn, mp_okikae.ini の 2 ファイル
東芝テック社 B-SP2D-GH30	bsp_okikae.syn, bsp_okikae.ini の 2 ファイル

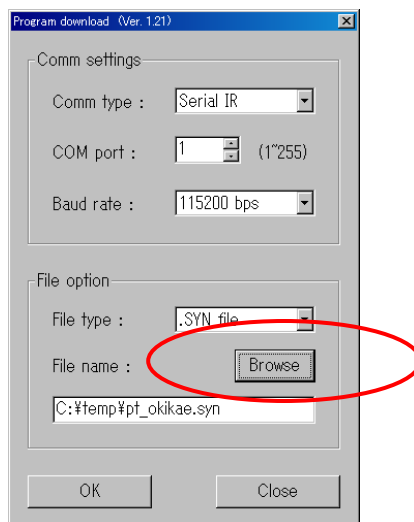
ここでは例として、サト社 PT200e用のファイルをc:\tempにコピーしています。



- 7 と 9 を押しながら 8061 の電源を立ち上げ、システムメニューから「6 Load Program」「2 Load BASIC」⁴「1 Cradle-IR」「1 115200」を選択し、CRDL-8001 クレードルにセットします。

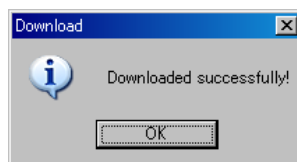
⁴ BASICソフトウェアエンジンがダウンロードされていない場合は、表示されません。

3. PC側でプログラムダウンロードユーティリティprogload.exe⁵を立ち上げ、「Com Type」,「COM Port」,「Baud rate」... の設定を正しく行い、「Browse」ボタンをクリックしてプログラムファイルを選択し、最後にOKボタンをクリックして、ダウンロードを開始します。



4. 下記のメッセージが表示されれば、ダウンロード完了です。

PC側



8061 側

```
=====
New Program
[ESC] Clear File
[Other] Skip
=====
```

ESCキーを押し、ファイルを初期化して、コード置換えツール発行プログラムを立ち上げます。

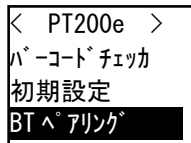
⁵ プログラムダウンロードユーティリティprogload.exeは、弊社HPより入手可能です。

3. プリンタとペアリングする

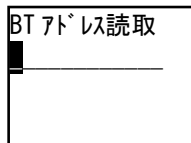
Bluetoothデバイスを運用する場合、最初にペアリングという作業を行い8061と無線プリンタとの間で接続を確立させておく必要があります。下記の手順に従って、ペアリングを行ってください。

ペアリングを行う

1. 値下げ型無線発行プログラムのメインメニューから「BTペアリング」を選択します。サ-社のPT200e用プログラムを元に例を示しています。



2. BTアドレス読取というプロンプトが表示されるので、接続を確立したいプリンタのBTアドレス(デバイスアドレス/MACアドレス)を入力します。キーボードから入力することもできますし、バーコードを読み取って入力することも可能です。



(参考)

サ-社PT200e

FEEDキーを押しながら電源を投入すると、テスト印字が行われます。テスト印字の「BD add」という項目にある値がBTアドレスです。

ゼブラ社 QL220

FEEDキーを押しながら電源を投入すると、テスト印字が行われます。テスト印字の「Bluetooth.address」という項目にある値がBTアドレスです。また、その下にBTアドレスがバーコード印刷されるので、それを読み取ることも可能です。

東北リ-社 MP2200BT

再発行キーを押しながら電源を投入すると、テスト印字が行われます。テスト印字の「BD Addr」という項目にある値がBTアドレスです。また、その下にBTアドレスがバーコード印刷されるので、それを読み取ることも可能です。

東芝テック社 B-SP2D-GH30

電源初状態、POWERキーを約5秒間長押しすると、BTアドレスがバーコード印刷されます。

3. BTアドレスが入力されると、8061はペアリングを試行し、その結果を表示します。ペアリングに失敗した場合は、エラー音と「リトライしますか? 1/0」というメッセージが表示されます。再試行する場合は1を、それ以外は0を入力してください。

4. 初期設定を設定する

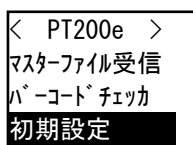
コード置換えファイル発行プログラムでは、印刷するバーコードの種類をコード 39 またはコード 128 の何れかに設定することができる他、仕入先コード(検索キー)の抽出条件や社内コード(置換えコード)の抽出条件を設定できます。尚、各プリンタによりバーコードにエンコードできる桁数も異なるので、その点もご考慮下さい。

- コード 39
数字(0~9)、アルファベット(A-Z)、記号(-, ., ^, -, \$, /, +, %)を表現できるバーコードです。
- コード 128
アルファベットを表現できるバーコードです。

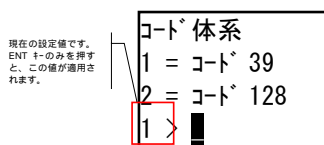
サ-社 PT200e	コード 39 : 12 桁 max., コード 128 : 14 桁 max.
セブ-ラ社 QL220	コード 39 : 12 桁 max., コード 128 : 14 桁 max.
東北リ-社 MP2200BT	コード 39 : 11 桁 max., コード 128 : 14 桁 max.
東芝テック社 B-SP2D-GH30	コード 39 : 19 桁 max., コード 128 : 31 桁 max.

初期設定

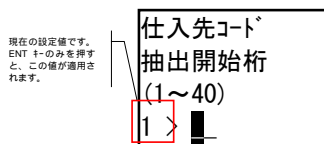
1. コード置換えファイル発行プログラムのメインメニューから「初期設定」を選択します。サ-社の PT200e 用プログラムを元に例を示しています。



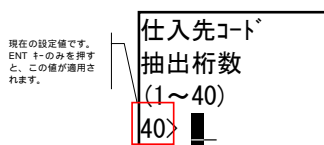
2. バーコード種を選択します。



3. 仕入先コード(検索キー)の抽出開始桁を 1~40 の範囲で設定します。



4. 仕入先コード(検索キー)の抽出桁数を 1~40 の範囲で設定します。



例) 抽出開始桁=5、抽出桁数=3 の場合

読取バーコード	抽出後
1234567890	567
ABCD	D
ABC123EFG	123

5. 社内コード(置換えコード)の抽出開始桁を 1~40 の範囲で設定します。

現在の設定値です。
ENT キーのみを押すと、この値が適用されます。

社内コード 抽出開始桁 (1~40)
1

6. 社内コード(置換えコード)の抽出桁数を 1~40 の範囲で設定します。

現在の設定値です。
ENT キーのみを押すと、この値が適用されます。

社内コード 抽出桁数 (1~40)
40

例) 抽出開始桁=5、抽出桁数=3 の場合	
マスターファイル レコード	抽出後
1234567890	567
ABCD	D
ABC123EFG	123

7. 最後に設定内容を保存するかを確認するメッセージが表示されるので、保存する場合は 1、しない場合は、それ以外のキーを入力します。

保存しますか 1=はい

5. コード置換えラベルを発行する

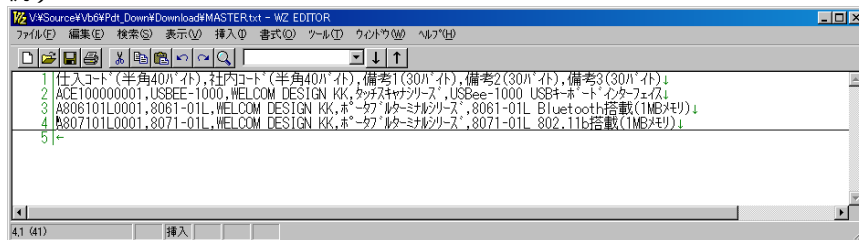
コード置換えラベル発行プログラムでは、読取ったバーコードを元に 8061 内のマスターファイルを検索し、マッチしたコードから必要なデータを取得して、ラベルを発行します。ラベル発行作業を始める前に、下記の手順に従って、マスターファイルを 8061 にダウンロードしてください。

マスターファイルをダウンロードする

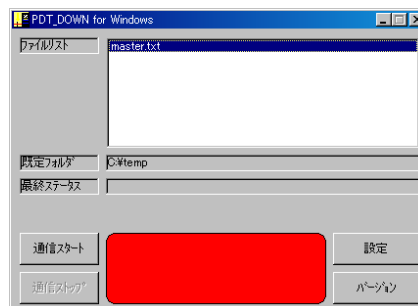
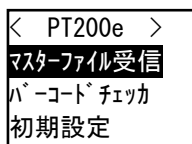
- 最初に CSV 形式のマスターファイルをルールに従って、作成します。

仕入先コード(検索キー)	社内コード(置換えコード)	備考 1	備考 2	備考 3
40 桁	40 桁	30 桁 (全角 15 文字)	30 桁 (全角 15 文字)	30 桁 (全角 15 文字)

例)

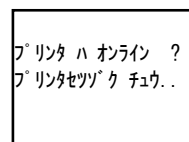
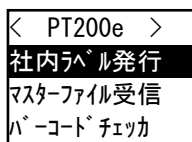


- コード置換えラベル発行プログラムのメインメニューから「マスターファイル受信」を選択し、PC からファイルダウンロードソフト PDT_DOWN を使って、マスターファイルをダウンロードします。PDT_DOWN の使用方法は、PDT_DOWN 取扱説明書を参照下さい。



ダウンロードが完了すれば、ラベル発行作業を開始できます。

- コード置換えラベル発行プログラムのメインメニューから「社内ラベル発行」を選択します。サト-社の PT200e 用プログラムを元に例を示しています。



プリンタセッティングチュウ.. というメッセージが表示されます。目的のプリンタをオンライン状態にしてください。接続が完了すると、次の入力に移ります。うまく接続できない場合は、「3.プリンタとペアリングする」を参照して、正しくペアリングを行ってください。

4. 仕入先コード (検索キー)を読み取ります。

仕入コード 読取

■

5. 仕入先コード (検索キー)を読み取るとマスターファイルが検索され、社内コード (置換えコード)情報が表示されます。マスターファイルに存在しない仕入先コード (検索キー)が入力された場合は、エラーメッセージが表示されます。

A806101L0001	入力された仕入先コード (検索キー)
社内コード C39	現在設定されている 点コード種が表示 されます
8061-01L	
何枚>■	検索された社内コード (置換えコード)

A806101Lxx1	入力された仕入先 コード (検索キー)
該当するコード がありません	

最後に、印刷したいハール枚数を 1~99 の範囲で入力します。何も入力せずに ENT キーを押した場合、デフォルトで 1 が適用されます。

JANコード 読取	入力した値引額から計 算した値引後価格が表 示されます。計算は全て 四捨五入で行われます。
023723740379	
値引後¥341	
何枚>■	

ハールが正しく印刷できれば OK です。4~6 の作業を繰り返し行って下さい。

6. バーコードチェッカ

コード置換えラベル発行プログラムのメインメニューから「バーコードチェッカ」を選択すると、読み取ったバーコード種、桁数を表示するバーコードチェッカモードとなります。印刷したバーコードが正しく読み取れるかのチェックなどにご利用下さい。

< PT200e >
社内ラベル発行
マスターファイル受信
バーコードチェッカ

@BCR チェッカー@
EAN13/JAN13
13 桁
023723740379
7

7. ラベルサンプル

下記に各プリンタで発行したラベルサンプルを掲載します。プリンタによりフォントや特性が異なるため、用途に応じた機種ご利用ください。

東北Ricoh社 MP2200BT



備考2データ

印刷日時

サト社 PT200e



東芝テック社 B-SP2D-GH30



ゼブラ社 QL220



備考1データ

備考3データ

社内コード(置換えコード)
をバーコード化

8. トラブルシューティング

- ④ プリンタと接続できない
 - ① プリンタは正しく行われていますか？
 - ② プリンタのバッテリーは十分ですか？
 - ③ プリンタの電源はわですか？
- ④ ラベルが印字できない
 - ① ロール紙は正しくセットされていますか？
 - ② プリンタはオンライン状態になっていますか？
 - ③ プリンタのラベル設定は正しく行われていますか？

各プリンタでラベルサイズ、センサー方式の設定を別途行う必要がある場合があります。この設定が間違っていると、フィードがうまくできなかつたり、プリンタ側でエラーが発生する場合があります。設定方法については、各プリンタの取扱説明書を参照下さい。

サトウ社 PT200e

専用の設定ツールを使って、ラベルサイズやセンサー種の設定を正しく行ってください。

東北理研社 MP2200BT

以下の手順でラベル長、ラベル幅、センサーの測定を行いプリンタのフラッシュROMに記録させます。

1. ラベルロールをプリンタに正しくセットします。
2. カバーを開けた状態で再発行SWを押下します。
3. カバーを閉じます。
4. 測定動作開始前にLED3が3回点滅し、その後測定を開始します。
5. ラベルを3枚フィードして、測定が終了します。
6. 測定結果がプリンタのフラッシュROMに記録されます。

Blank page